



2024年3月25日

各位

会社名 株式会社 大光
代表者名 代表取締役社長執行役員 金森 武
(コード番号：3160 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 秋山 大介
管理本部長兼総務部長
(TEL. 0584-89-7777)

連結子会社における営業損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年5月期第3四半期連結累計期間において連結子会社で営業損失を計上するとともに、2023年9月25日に公表いたしました2024年5月期の通期業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結子会社の営業損失の内容

水産品事業を展開する連結子会社の株式会社マリネデリカにおいて、ALPS処理水の放出を受けて中国政府が日本産水産物の輸入を禁止した影響により商品相場が下落したことから、売上値引79,118千円及び棚卸資産の評価損197,551千円を計上しました。

2. 2024年5月期 通期業績予想数値の修正(2023年6月1日～2024年5月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	70,300	1,350	1,400	900	61円29銭
今回修正予想(B)	70,300	1,070	1,120	620	42円22銭
増減額(B-A)	—	△280	△280	△280	
増減率(%)	—	20.7	20.0	31.1	
(ご参考)前期実績 (2023年5月期)	64,825	762	820	424	31円33銭

3. 修正の理由

外食産業を取り巻く環境の改善に伴い、業務用食品等の卸売業を行う外商事業及び小売業を行うアミカ事業の業績は順調に推移しております。しかしながら、上記「1. 連結子会社の営業損失の内容」に記載のとおり営業損失を計上したことから、通期業績予想につきましては、上記の通り前回発表予想を下回る見込みとなりました。

なお、ALPS処理水放出に伴い諸外国からの禁輸措置などによって連結子会社に生じた損害については、東京電力ホールディングス株式会社に対する損害賠償請求手続きを進めておりますが、現時点におきましては、賠償額は確定しておらず受領時期も未定であることから、上記の業績予想には当該影響を織り込んでおりません。

※ 本資料に記載されている業績予想は、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上